

2017年11月28日

【パネルディスカッション】日本を訪れたオスマン帝国の旅行家
アブデュルレシト・イブラヒム
(An Ottoman Traveler in Japan; Abdürreşid İbrahim)

イスラーム世界の日本観に大きな影響を与えた、ロシア出身のトルコ系ムスリムであるアブデュルレシト・イブラヒム。ユーラシア大旅行の途次、明治末期（1909年）に日本を訪問したジャーナリスト、旅行家でもあり、東京モスクの初代イマームを務めたことでも知られる。下記の日程にて、アブデュルレシト・イブラヒムをテーマにしたドキュメンタリー鑑賞、写真展示会、パネルディスカッションなどが開催されます。皆さまのご来場お待ちしております。

◇日時：2017年12月8日（金）14:00～18:00

受付 14:00～ 開始 14:30～

◇会場：東京ジャーミイ1階多目的ホール

(Tokyo Camii & Turkish Culture Center)

(住所：〒151-0065 渋谷区大山町1-19)

◇お申込み：予約不要

◇入場料：参加無料

◇パネリスト：

アリ・メルトハン・デュンダル アンカラ大学 教授

小野亮介 早稲田大学 人間科学学術院 助手

◇来賓：

ハサン・ムラト・メルジャン 駐日トルコ共和国大使

エルダル・ギュベン 日本人ビジネスマンと経済・文化

交流協会 会長

メフメット・エミン・オズジャン ワクフ銀行 ゼネラルマネージャー

岡浩 前駐トルコ日本大使

